

# 児童虐待に対応するための校内体制について

平成30年度

熊谷市立三尻小学校

## ○「校内指導体制」の確率

本校では、学校生活や日常生活面について観察、注意を払いながら児童虐待の早期発見、対応のために、学級担任、生徒指導担当職員、養護教諭など教職員等が協力して、日頃から児童の状況把握に努めるとともに、児童がいつでも相談できる雰囲気をつくっている。児童虐待に対応するために、下のような校内体制を組んでいる。

## 虐待の疑い

担任、養護教諭、本人、他の子ども



校長 情報の集中管理

教頭 情報収集・状況把握を指示



## 児童虐待対策委員会

校長、教頭（児童虐待キーパーソン）、生徒指導主任、学校教育相談主任、人権教育主任、教務主任、教務、担任、養護教諭、特別支援コーディネーター

- ・アンケートの実施（毎月）
- ・事実の把握
- ・問題点の明確化
- ・情報の共有と取り組み方針の明確化
- ・キーパーソンの決定
- ・組織内チームとしての役割分担の決定



## 支援と救済